



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	39,616	4.6	339	5.7	425	17.2	238	△64.7
24年3月期第2四半期	37,870	10.8	320	—	363	—	677	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 254百万円 (△62.8%) 24年3月期第2四半期 683百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	28.97	—
24年3月期第2四半期	81.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,128	9,307	22.9
24年3月期	33,240	9,112	24.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,284百万円 24年3月期 8,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	0.4	820	1.2	870	0.3	1,050	0.9	127.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	8,347,248 株	24年3月期	8,347,248 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	101,820 株	24年3月期	94,114 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	8,249,209 株	24年3月期2Q	8,314,286 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした個人消費の持ち直しの動きが見られたものの、欧州における金融危機や円高、電力供給不足への懸念などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、新設住宅着工戸数の伸びが鈍化しながらも、政府の住宅取得促進施策等の効果により堅調に推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災被災地の地域再生に向け復旧関連資材などの需要に積極的に対応しました。また、需要拡大の見込まれる太陽光発電や創エネ・省エネ関連商品の取組みを強化いたしました。さらに、顧客獲得と販売シェアの拡大に努め、需要の掘り起こしに向けた営業力の強化と施工体制の拡充により利益確保を図りました。

この結果、当第2四半期の業績は、昨年同期中に株式会社ニッケーと株式会社サツイチを子会社化したことおよび大型物件の完工などから売上高が396億16百万円（前年同期比104.6%）、営業利益は3億39百万円（前年同期比105.7%）、経常利益は4億25百万円（前年同期比117.2%）となりました。四半期純利益は2億38百万円（前年同期比35.3%）となりましたが、前年同期においては上記2社の完全子会社化に伴う負ののれん発生益5億5百万円を特別利益に計上したことによるものです。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

民間の建築需要が底堅く推移したものの、公共投資の落ち込みもあり、売上高は258億13百万円（前年同期比100.0%）となり、セグメント利益は4億74百万円（前年同期比94.5%）となりました。

建設工事

震災後の需要が落ち着いたものの、大型物件の完工等により、売上高は94億37百万円（前年同期比113.7%）となり、利益率の改善からセグメント利益は53百万円（前年同期比429.2%）となりました。

石油製品

販売数量の減少により、売上高は26億95百万円（前年同期比95.1%）となり、セグメント利益は5百万円（前年同期比90.9%）となりました。

資材運送

株式会社サツイチの子会社化もあり、売上高は15億11百万円（前年同期比193.4%）となりセグメント利益は1億48百万円（前年同期比151.3%）となりました。

その他

子会社化した株式会社ニッケーの不動産賃貸事業が加わったことなどから、売上高は1億58百万円（前年同期比116.2%）、セグメント利益は60百万円（前年同期比221.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比28億87百万円増加して361億28百万円(前連結会計年度末比108.7%)となりました。流動資産は同29億96百万円増加して286億3百万円、固定資産は同1億9百万円減少して75億24百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同6百万円増加して52億77百万円となりました。無形固定資産は、同11百万円増加して1億84百万円となりました。投資その他の資産は、同1億27百万円減少して20億63百万円となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比26億92百万円増加して268億20百万円(前連結会計年度末比111.2%)となりました。流動負債は、同30億55百万円増加して239億20百万円、固定負債は同3億62百万円減少して29億円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比1億94百万円増加して93億7百万円(前連結会計年度末比102.1%)となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.4%から22.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期において特別利益の計上が見込まれることから、通期の連結業績予想を変更しております。なお、詳しくは本日公表の「特別利益(負ののれん発生益)の計上、業績予想の修正および配当予想の修正(記念配当の実施)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747	3,008
受取手形及び売掛金	18,094	20,070
商品及び製品	508	542
販売用不動産	1,651	1,602
未成工事支出金	1,253	2,967
原材料及び貯蔵品	25	20
その他	387	439
貸倒引当金	△60	△48
流動資産合計	25,606	28,603
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,509	3,553
その他(純額)	1,761	1,724
有形固定資産合計	5,270	5,277
無形固定資産		
	173	184
投資その他の資産		
その他	2,535	2,361
貸倒引当金	△345	△298
投資その他の資産合計	2,190	2,063
固定資産合計	7,634	7,524
資産合計	33,240	36,128
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,726	19,880
短期借入金	630	530
1年内返済予定の長期借入金	819	775
未払法人税等	83	174
賞与引当金	204	222
工事損失引当金	5	17
完成工事補償引当金	43	42
災害損失引当金	7	7
その他	1,344	2,270
流動負債合計	20,864	23,920
固定負債		
長期借入金	1,766	1,507
退職給付引当金	319	282
負ののれん	7	5
資産除去債務	18	18
その他	1,152	1,085
固定負債合計	3,262	2,900
負債合計	24,127	26,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	7,344	7,526
自己株式	△21	△21
株主資本合計	8,059	8,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	43
その他の包括利益累計額合計	64	43
少数株主持分	988	1,023
純資産合計	9,112	9,307
負債純資産合計	33,240	36,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	37,870	39,616
売上原価	34,826	36,412
売上総利益	3,043	3,203
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,271	1,341
その他	1,450	1,522
販売費及び一般管理費合計	2,722	2,863
営業利益	320	339
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	11	11
負ののれん償却額	1	1
持分法による投資利益	4	3
雑収入	88	112
営業外収益合計	124	144
営業外費用		
支払利息	50	38
債権売却損	19	12
雑損失	11	6
営業外費用合計	81	57
経常利益	363	425
特別利益		
固定資産売却益	0	6
負ののれん発生益	505	—
特別利益合計	506	6
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	866	426
法人税等	163	151
少数株主損益調整前四半期純利益	702	275
少数株主利益	24	36
四半期純利益	677	238

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	702	275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△21
その他の包括利益合計	△18	△21
四半期包括利益	683	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	659	218
少数株主に係る四半期包括利益	24	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	866	426
減価償却費	106	132
負ののれん償却額	△1	△1
負ののれん発生益	△505	—
受取利息及び受取配当金	△29	△27
支払利息	69	51
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△3
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,761	△1,915
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,265	△1,694
その他の資産の増減額 (△は増加)	32	51
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,073	2,153
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,382	885
その他の負債の増減額 (△は減少)	△24	71
その他	△84	△148
小計	856	△24
利息及び配当金の受取額	29	27
利息の支払額	△69	△50
法人税等の支払額	△29	△38
持分法適用会社からの配当金の受取額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	787	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25	△32
定期預金の払戻による収入	44	54
固定資産の取得による支出	△114	△146
固定資産の売却による収入	1	8
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	437	—
関係会社株式の取得による支出	△3	—
貸付けによる支出	△154	△118
貸付金の回収による収入	112	87
リース用資産の取得による支出	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	295	△148

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△440	△100
長期借入れによる収入	100	120
長期借入金の返済による支出	△371	△422
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△41	△57
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
リース債務の返済による支出	△4	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△759	△482
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	323	△716
現金及び現金同等物の期首残高	4,285	3,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,609	2,964

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	25,816	8,299	2,835	781	37,733	136	37,870	—	37,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	796	150	58	227	1,233	25	1,258	△1,258	—
計	26,613	8,450	2,893	1,008	38,966	161	39,128	△1,258	37,870
セグメント利益	501	12	6	98	618	27	646	△325	320

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△363百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設資材」セグメントにおいて、株式会社ニッケーの株式を新たに取得したことに伴い、また、「資材運送」セグメントにおいて、株式会社サツイチの株式を新たに取得したことに伴い負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「建設資材」1億81百万円および「資材運送」3億23百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	25,813	9,437	2,695	1,511	39,457	158	39,616	—	39,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	631	253	57	228	1,171	26	1,197	△1,197	—
計	26,444	9,690	2,753	1,739	40,628	184	40,813	△1,197	39,616
セグメント利益	474	53	5	148	682	60	743	△403	339

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△403百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。